

子ども元気復活交付金の交付可能額通知（第 2 回）について

本年度創設した「子ども元気復活交付金」（概要は参考 1 を参照）について、本日、以下のとおり第 2 回の交付可能額を通知した。

1. 総額

23 市町村に対して国費約 34 億円（事業費約 68 億円）。市町村別の配分額は別添 1 を参照。

※ 計数は精査の結果、今後変動があり得る。

【第 1 回交付可能額（7 月 2 日）】 国費約 28 億円（事業費約 56 億円）

2. 主な事業（具体例は別添 2 を参照）

- 学校・保育所・公園等の遊具の更新：276 ヶ所
- 運動施設、公園・広場の整備：17 ヶ所
⇒全天候型運動施設 5 ヶ所やプールの整備 7 ヶ所等
- 整備する施設でのプレイリーダーの養成等：3 ヶ所

3. 今後の予定について

- これまでの配分を通じハード整備についてはある程度進捗。今後は、プレイリーダーの養成など、ハード整備の効果を促進するソフト事業の実施を期待。

※近々、第 3 回の計画募集を開始。

4. その他（参考 2 を参照）

- 明日（11 月 2 日）、第 1 回配分を活用して整備した本宮市「スマイルキッズパーク」のリニューアルセレモニーに大臣が出席予定。

本件連絡先：
復興庁
原子力災害復興班 三井、島岡、三田村
TEL：03-5545-7369

平成25年度 第2回交付可能額通知 一覧表

【別添1】
(単位:千円)

県名	計画名	計画策定主体	配分額	備考
福島県				
	福島市定住緊急支援事業計画	福島市	187,313	
	いわき市定住緊急支援事業計画	いわき市	357,232	
	白河市定住緊急支援事業計画	白河市	14,261	
	須賀川市定住緊急支援事業計画	須賀川市	262,292	
	相馬市定住緊急支援事業計画	相馬市	823,536	
	二本松市定住緊急支援事業計画	二本松市	151,377	
	田村市定住緊急支援事業計画	田村市	186,367	
	南相馬市定住緊急支援事業計画	南相馬市	19,590	
	伊達市定住緊急支援事業計画	伊達市	200,897	
	本宮市定住緊急支援事業計画	本宮市	189,111	
	桑折町定住緊急支援事業計画	桑折町	20,635	
	川俣町定住緊急支援事業計画	川俣町	22,340	
	大玉村定住緊急支援事業計画	大玉村	24,737	
	鏡石町定住緊急支援事業計画	鏡石町	54,970	
	天栄村定住緊急支援事業計画	天栄村	267,036	
	西郷村定住緊急支援事業計画	西郷村	4,952	
	泉崎村定住緊急支援事業計画	泉崎村	15,465	
	矢吹町定住緊急支援事業計画	矢吹町	349,553	
	三春町定住緊急支援事業計画	三春町	38,348	
	小野町定住緊急支援事業計画	小野町	56,766	
	広野町定住緊急支援事業計画	広野町	60,838	
	川内村定住緊急支援事業計画	川内村	38,719	
	新地町定住緊急支援事業計画	新地町	90,587	
福島県	合計	23計画	3,436,922	

子ども元気復活交付金 第2回交付可能額通知について

【矢吹町】 屋内・屋外運動施設の一体整備



通年での利用が可能な屋内運動施設とフットサル用の屋外運動施設を一体的に整備することで、幅広い年齢層の子どもたちに多様な運動機会を提供

【須賀川市】プレイリーダーの養成講座の実施

- 第1回配分により、翠ヶ丘公園(わんぱく広場)を整備中
- 第2回配分で、「プレイリーダー養成事業」として、遊具の安全な使用方法や外遊びに関する講座を実施し、子どもたちのより良い成育環境の形成に寄与

プレイリーダーの活動イメージ



竹を使った手作りの平均台



竹細工などの昔遊び講座
(川口市プレイリーダー 協議会HPより)



実施箇所
(わんぱく広場)

翠ヶ丘公園

子ども元気復活交付金

(福島定住等緊急支援交付金) (復興庁原子力災害復興班)
 平成25年度予算 100億円 (平成26年度概算要求 101億円)

事業概要・目的

- 福島県の中通りをはじめとした地域においては、原発事故の影響により、子育て世帯を中心とした自主避難が続いており、人口の流出による地域活力の低下が懸念されている。
- また、子どもたちが十分に運動する機会が減少し、肥満傾向の拡大や体力の低下が見られるなど、地域において健全に子どもが育つ環境が損なわれている状況にある。
- そのため、公的な賃貸住宅の整備や子どもの運動機会の確保のための施設整備の早急な実施を支援することにより、子育て世帯が安心して定住できる環境を整え、地域の復興・再生を促進する。

資金の流れ



期待される効果

- 子どもを対象とした運動施設の整備や域外に避難している子育て世帯の帰還を支援する住宅供給を行うことにより、事業対象地域における定住環境の改善が進み、地域の活性化、さらにはその復興・再生が加速することが期待される。

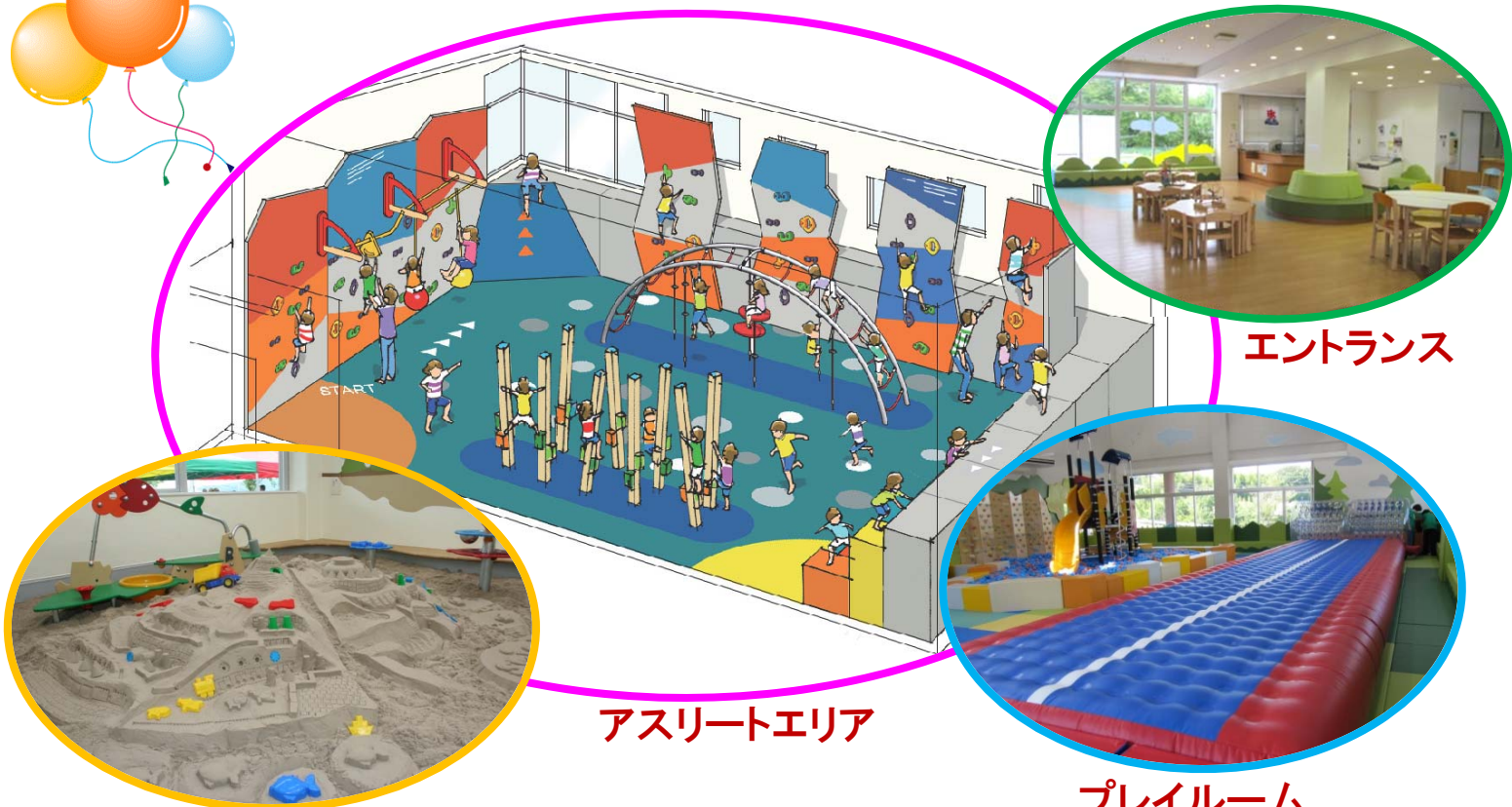
事業イメージ・具体例

- (1) 対象区域
 原発事故の影響により人口が流出し、地域の復興に支障が生じていると認められる地域
- (2) 事業メニュー
 - ①基幹事業
 - 【運動機会の確保に係る事業】
 - ・遊具の更新
 - ・地域スポーツ施設、水泳プール等の整備
 - ・都市公園における施設整備 等
 - 【住環境の整備のための事業】
 - ・公的な賃貸住宅等
 (=子育て定住支援賃貸住宅) 整備費助成 等
 - ②効果促進事業
 基幹事業と一体となって効果を増大するソフト施策等の事業 (基幹事業の25%を上限とする)
 - ・子どもの運動や遊びの支援 (イベント開催等) 等
 - ・子育て定住支援賃貸住宅の駐車場整備
- (3) 交付率

運動機会の確保に係る事業	1/2
子育て定住支援賃貸住宅の建設	2/3
子育て定住支援賃貸住宅の家賃の低廉化	45/100
効果促進事業	1/2

スマイルキッズパーク 11月2日 ハニューアルオープン!

11月2日(土)は、午前10時よりオープンセレモニーが行われ、午前10時30分よりご利用いただけます。



ご来館の皆さんに11時30分から13時まで、新鮮な野菜の芋煮とおにぎりの「お・も・て・な・し」

《お問い合わせ》

スマイルキッズパーク(44-2500)
えぽか(63-2780)

